

学校教育目標 『よく見つけ、よく考え、健康で実行力のある生徒の育成』
令和8年度テーマ 『自ら考え、周囲と協同して未来を拓くことができる生徒の育成』校訓
知性 創造 練磨 友愛

『学校安全の日』に考えてほしかったこと。

今日、日本のどこかで地震が起きる確率は、99.89%

過去10年間(3653日)で、
日本のどこかで地震が発生
した日数…… 3649日
(気象庁より)

6月8日(月)に、地震を想定した避難訓練を実施しました。その後には、保護者の方への引き渡し訓練も行いました。多くの保護者の皆様にもご参加いただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

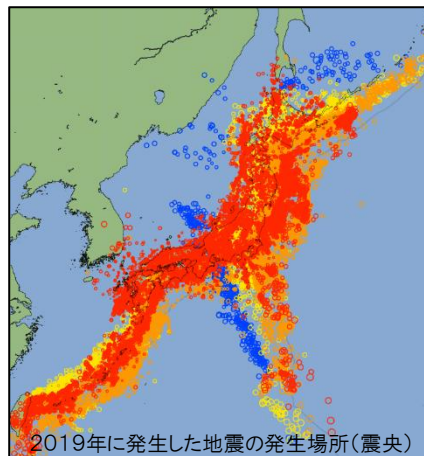
避難訓練実施の6月8日は、学校における安全の大切さを忘れないために制定された『**学校安全の日**』でした。25年前にあった…学校管理下で起きた子どもたちの尊い命が失われた痛ましい出来事への深い反省があります。

また、来週の6月18日は大阪北部地震があった日(2018年)です。この地震によっても尊い命が失われてしまいました。今でも忘れられません。

当時を知らない世代も増え、記憶は少しずつ薄れていきますが、悲しい出来事を風化させないことが、未来の安全につながります。

訓練は“形だけ”で終わるものではなく、「もし今起きたらどう行動するか」を真剣に考える機会であってほしいと願っています。

日本では、ほぼ毎日どこかで地震が発生しています。右の図や表の通りです。地震の発生場所は、過去10年間で最も少なかった2019年ですら、1,564回と日本中いたるところで発生しています。(気象庁より)



2016年	6,587回
2017年	2,025回
2018年	2,179回
2019年	1,564回
2020年	1,708回
2021年	2,424回
2022年	1,964回
2023年	2,237回
2024年	3,678回
2025年	4,456回
2026年	? 回



学校における安全管理には、地震だけでなく、水害や火災などに備える「災害安全」、不審者対応や校内事故防止などの「生活安全」、そして登下校時を含めた「交通安全」への取り組みも欠かせません。日々のニュースでは、痛ましい事故や事件に胸を痛めてしまいますが、決して他人事ではなく、いつ事故や事件が起きてもおかしくないという意識を持つ必要があります。

生徒のみなさんには、まず「自分の身は自分で守る」という意識を強くもつことからお願いします。

そのうえで教職員一同がみなさんの命と安全を守るという強い責任感を持って、日々の教育活動に取り組みます。

また、地域や家庭と連携しながら、子どもたちを守っていくことが大切です。ぜひご家庭でも、登下校時の安全や災害時の行動について、話し合う機会を持っていただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

各クラスの学級目標を紹介します。



学級目標を達成するためには“目的（ゴール）”を見失わないこと！

目標とは、「今の自分たちをよりよくしていくための「めざす姿」を示す道しるべ」です。

この目標が、せっかく立てたのにいつの間にか意識されなくなってしまうことがあります。なぜそのようなことが起きるのでしょうか。

それは、「何のために目標を立てたのか」という“目的（ゴール）”が見えていないからです。または「目標を立てること」が“目的（ゴール）”になっているからです。

各クラスで決めた学級目標は、3月の修了式の日、クラス全員で「こんなクラスになれたね」と胸を張って言える“目的（ゴール）”に近づくためのものです。



少し難しいかもしれませんが、「目標」と“目的（ゴール）”は違います。

例えば、「テストで100点をとる」ということを考えてみましょう。

これを『目標』と考えるなら、その先があります。「志望する高等学校に合格するため」や「学力を伸ばすため」などの“目的（ゴール）”につながっていきます。

一方で、「100点をとること」が“目的（ゴール）”になると、達成したら終了です。点数をとるために手段を考え、努力はするかもしれませんが、その先の成長や次の「目標」につながりにくくなります。いわゆる、“燃え尽き”症候群です。

大切なのは、「どんな自分になりたいのか」「どんなクラスにしたいのか」という“目的（ゴール）”をしっかりと持ち、見失わないことです。今一度、担任の先生や学年の先生、クラスの仲間たちと学級目標の先にある“目的（ゴール）”を確認してみてください。

そして、その“目的（ゴール）”を忘れずに、学級目標を意識しながら学校生活を送り、授業に取り組んで、クラスの仲間全員が成長して行ってほしいと願っています。